



〒064-8540 札幌市中央区宮の森 2 条 16 丁目 10 番 1 号
 URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667 (職員室直通)
 FAX 011-612-0980

今年度のしめくくりの時期となりました。学年末考査に向けて、悔いの残らぬよう十分に備えることができますように。そして、卒業する中学3年生一人ひとりが、新しい環境に早く慣れ、自分らしく充実した高校生活を送ることができますように。



3月の予定



		行事	弁当
1	水	通常授業最終日 母の会パン販売(12:25~13:10)	要
2	木	学年末考査①	※
3	金	学年末考査②	※
4	土		
5	日		
6	月	学年末考査③	※
7	火	学年末考査④ アメリカ聖心姉妹校ルーツの旅事前準備(中2・3)	※
8	水	考査返却①各科目 30分	※
9	木	考査返却②各科目 30分	※
10	金	午前授業 朝 SHR 個人票手渡し 中3卒業式練習(8:45~10:20) 中2/高1・2キャリア教育ワークショップ(9:00~10:30)、 中3卒業研究代表者発表会(10:35~10:50) 中3送別会(11:00~11:30)	不要
11	土		
12	日		
13	月	生徒家庭学習	
14	火	午前授業 姉妹会総会(8:45~9:30) 個人写真撮影 中3学年行事 LHR 高校第二卒業式(14:00~)	不要
15	水	終業日 午前授業 大掃除、終業式、LHR	不要
16	木	中学卒業式(ホテルライフオート札幌にて) (中3のみ出席)	不要
17	金		
18	土	アメリカ聖心姉妹校ルーツの旅(~3月27日)	
19	日		
20	月		
21	火	春分の日	
22	水		
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		

☆ ※の日は、必要な方は昼食をご用意ください。

☆ 行事予定は暫定のもので、大きな変更がある場合には、一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。

Congratulations!!

- ◎ 第 55 回北海道中学校スキー大会アルペン競技 女子 GSL
7位 中3 石丸り子
- ◎ 第 60 回全国中学校スキー大会アルペン競技 女子 SL
6位 中3 石丸り子
- ◎ 第 41 回札幌市中体連スキー新人戦大会
4位 中2 内海玲依羅
- ◎ 2023 全日本ジュニアスキー選手権大会アルペン競技(YH)SG
優勝 中3 石丸り子
- ◎ 2023 全日本選抜ユーススキー選手権大会 SG
準優勝 中3 石丸り子

トルコ南東部地震・緊急支援募金

2月6日(月)未明、トルコ南東部とシリアでマグニチュード 7.8 の大地震が発生しました。その後の地震と併せて、現地は壊滅的な状況に陥っています。2月15日(水)に社会福祉委員会で行った緊急支援募金は、カリタス・ジャパン(宗教法人カトリック中央協議会)を通じて、被災地域で行われる救援活動のために活用されます。みなさまのご協力により、**総額 51,555 円** 集まり、すぐに送金することができました。

高校1年オンラインNew York 国連研修

2月6日(月)~8日(水)に、高校1年11名がNew York オンライン国連研修に参加しました。

3日間、充実した学びと気づきの体験を得て、自分たちが今の生活をどのように過ごしていくかで、世界の状況が変わっていくということを実感することができました。今後はアクションプランを考え、実行する予定です。



Sr. Daphne Sequeira rscj が来校されました！

2月15日(水) ローマの総本部から、総長顧問、インド出身のシスターダフネ・セケイラ(Sr. Daphne Sequeira rscj)が理事長シスター宇野のご案内で来校されました。総本部では、札幌聖心とその取り組みはよく知られているとおっしゃり、総長様からの「よろしく」を伝えられた後、インドでなされていた使徒職について、話し



てくださいました。インドの聖心会は大学と専門学校のほか、五つの学校の教育に加え、女性の地位が特に低く、教育の機会が与えられない農村部で、機能的識字(読み書きと計算を使いこなせる状態)に導くプログラムを展開しています。シスターは、困難の末、教育を受けることができた女性たちが、自信と自覚をもって、子どもを教育し、



手を携えてそれぞれの地域の資源について学んだことを生かし、村の生活を最低限から少しずつ余裕のあるものとしていった様子を話して下さいました。そして、恵まれた教育の機会を活かして、勉強に取り組むようにと呼びかけられました。放課後、高校1, 2年の国連研修生が、本校の紹介と共に、それぞれの研修を報告し、喜んでいただきました。その後、高校2年生が、学校や寄宿をご案内し、シスターは生徒達との会話を楽しんでおられました。

今月のこころのことは

「『静かにささやく』 声を聞く」

(列王紀上 19:11-13a)

旧約聖書の列王紀に、預言者エリヤが、神の山ホレブで神に出会った体験が記されています。神に呼ばれたエリヤは、「山の中で主の前に立ちなさい」と言われました。その通りにすると、非常に激しい風が起り、山を裂き、岩を砕きました。しかしその風の中に神はおられませんでした。そのあとに地震が起き、火も起きました。しかし地震の中にも、火の中にも神はおられませんでした。そして、その火のあとに、静かにささやく声が聞こえてきました。神様と出会うことは、「静かにささやく」神の声を聞き取ることなのです。

高校3年生が宗教科の授業の振り返りで、「聖心の教育を受けてきたことを振りかえると、周囲の色々なことを良く『聴く』ことができるようになったと感じます。」と書いていました。相手の話や気持ちを丁寧に「聴く」姿勢を身に付けたことこそが、その謙虚な姿勢とともに、静かにささやく神の声を聞き取ることができるのだと思います。また、もう一人は、「イエス様が弟子の足を洗ったのと同じように、謙虚な心を持ち、相手の内面までしっかりと見つめ、外見や見た目で判断することのない人になりたいと思うようになりました。」と書いていました。聖心の学校で学んだ成果をこのような形で振りかえられることに感動しました。

また中学3年生が、札幌聖心での中学校生活の振り返りの中で、「中学校生活の中で、高校生の先輩から学んだ、セルフコントロールができるようになったことがいちばん大きな学びです」「中学での学びを通して、新しい自分に出会うことができた。このあとの高校生活の中で、色々な新しいことに挑戦し、今まで知らなかった新たな自分と出たい」と書いていました。札幌聖心での学びの中で、「自分」に対して謙虚に向き合うことで気づきを得て、これからの自分に活かしていくという、前向きな気持ちにも感動しました。

卒業する中学3年生も、この札幌聖心で振り返りと気づきを深めるうちに、「静かにささやく」神の声に耳を傾けることができるようになっていくことをうれしく思い、一人ひとりのために祈ります。

札幌聖心を築立っていく皆さんの振り返りに触れて、私たちは、いつでも、どんな状況の中でも、「静かにささやく神」の声が聞こえてくる謙虚な者でありたいと、改めて思いました。

〔校長 齊藤 隆浩〕